

熊本県院内がん登録データに係る統計 —2014年診断症例—

医療機関名		独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター
-------	---	--------------------------

○基本情報

【平成26年12月現在】

所在地	熊本市中央区二の丸1-5
病床数	550床
診療科数	32科
がん診療連携拠点病院指定日	2008.02.08
がん登録開始基準日	2007.09.01
平均在院日数	12.8 (日)
入院患者数	13,844 (人)
外来患者延数	157,227 (人)
院内がん登録件数	1,571 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 1 / 初級者 0 / 他 0 (名)

○医療機関からのコメント

【登録件数・症例数の多い登録部位】

国立病院機構熊本医療センターの2014年診断症例の院内がん登録件数は1571件であった。登録件数は1500件台で推移している。男性・女性の合計では、例年通り悪性血液疾患(白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群等)が最も多く、262件、ついで大腸(結腸・直腸)202件、子宮154件であった。そのうち男性では、悪性血液疾患146件、前立腺121件、大腸98件、女性では子宮154件、悪性血液疾患116件、乳房111件であった。

【罹患平均年齢】

69.5歳と、2008年の68.1歳と比較して1.4歳と年々上がっている。また最も若い罹患平均年齢である子宮は52.2歳であり、全体の69.5歳と比較して17.3歳ほど年齢が下がる。

【症例数の多い部位の主な治療方法・特色】

- 1)『悪性血液疾患』県下唯一の日本骨髄バンクと日本臍帯血バンクの認定施設として、同種造血幹細胞移植を実践している。また、小児の骨髄移植も実践している。
- 2)『大腸』症例に応じて、患者様の身体的に負担の少ない鏡視下手術を積極的に行っている。また化学療法、放射線療法と組み合わせた集学的治療を実践している。
- 3)『子宮』過去の実績から多くのがん患者様の治療を経験しており、手術療法、化学療法、放射線療法と組み合わせた集学的治療を実践している。

【熊本医療センターの特徴・役割】

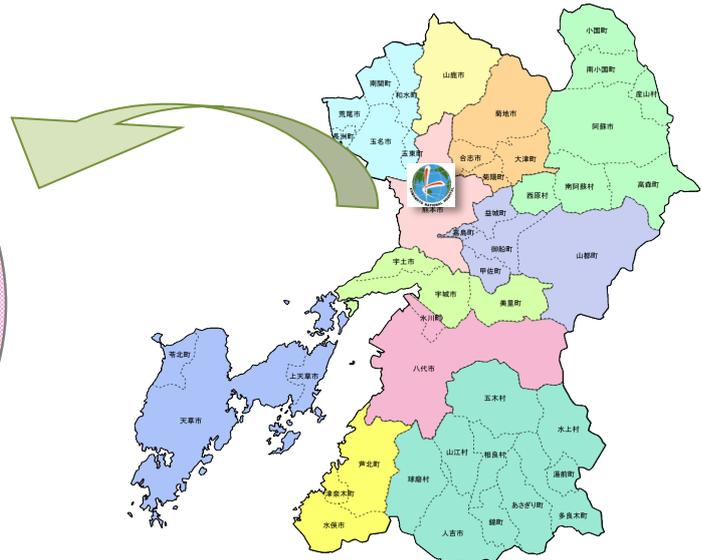
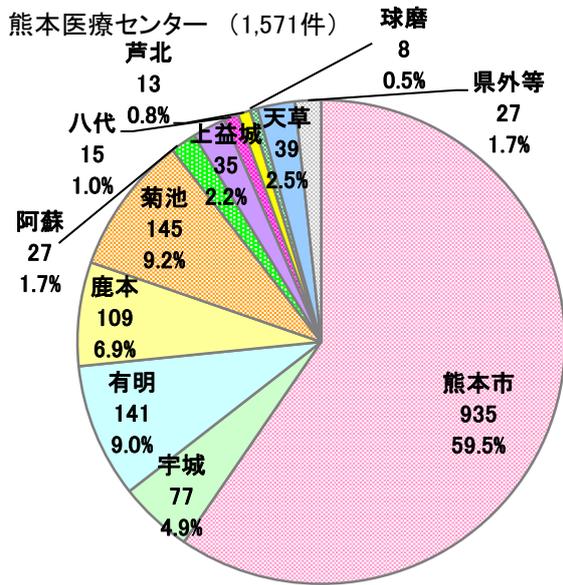
精神科を有しており、精神障害を合併されたがん患者様の治療に対応している。また、2015年より腫瘍内科が新設され、がん薬物療法を専門に扱う腫瘍内科医4名の体制となったことで、全ての種類のがん診療に対応することが可能になった。地域がん診療連携拠点病院としての役割を果たすため、チーム医療、医療連携の充実を図り、より多くの患者様への相談支援体制が整った。

診断年別登録件数
(参考)



① 患者住所医療圏別登録の状況(2014年診断症例)

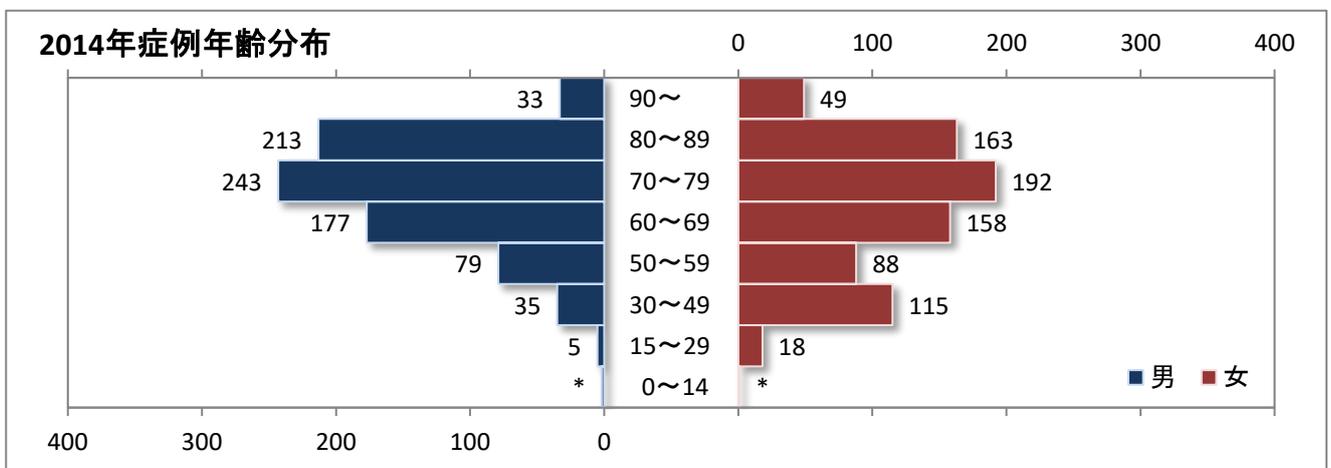
※ 全般において3件以下は*又は非表示



◇ 医療圏別上位部位

医療圏	部位	症例数									
熊本市	大腸	145	鹿本	前立腺	21	上益城	悪性血液	12	球磨	他計	8
	その他	143		その他	18		大腸	5			
	悪性血液	120		大腸	17		乳房	4			
	子宮	85		悪性血液	13		子宮	4			
	他計	442		他計	40		他計	10			
宇城	悪性血液	26	菊池	その他	26	八代	悪性血液	7	天草	悪性血液	13
	皮膚	12		悪性血液	24		乳房	4		子宮	9
	その他	9		胃	17		他計	4		その他	4
	大腸	6		前立腺	15					他計	13
	他計	24		他計	63						
有明	その他	26	阿蘇	悪性血液	6	芦北	悪性血液	6	県外等	悪性血液	9
	悪性血液	23		皮膚	4		他計	7		その他	5
	子宮	20		子宮	4					子宮	4
	皮膚	16		他計	13					他計	9
	他計	56									

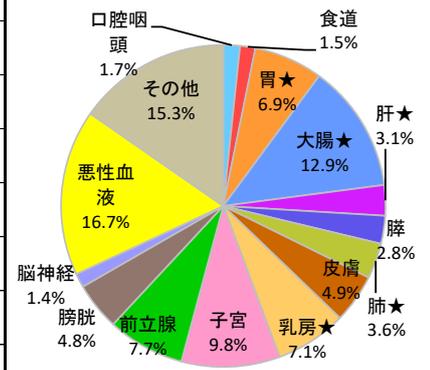
② 診断時年齢分布と平均年齢の推移



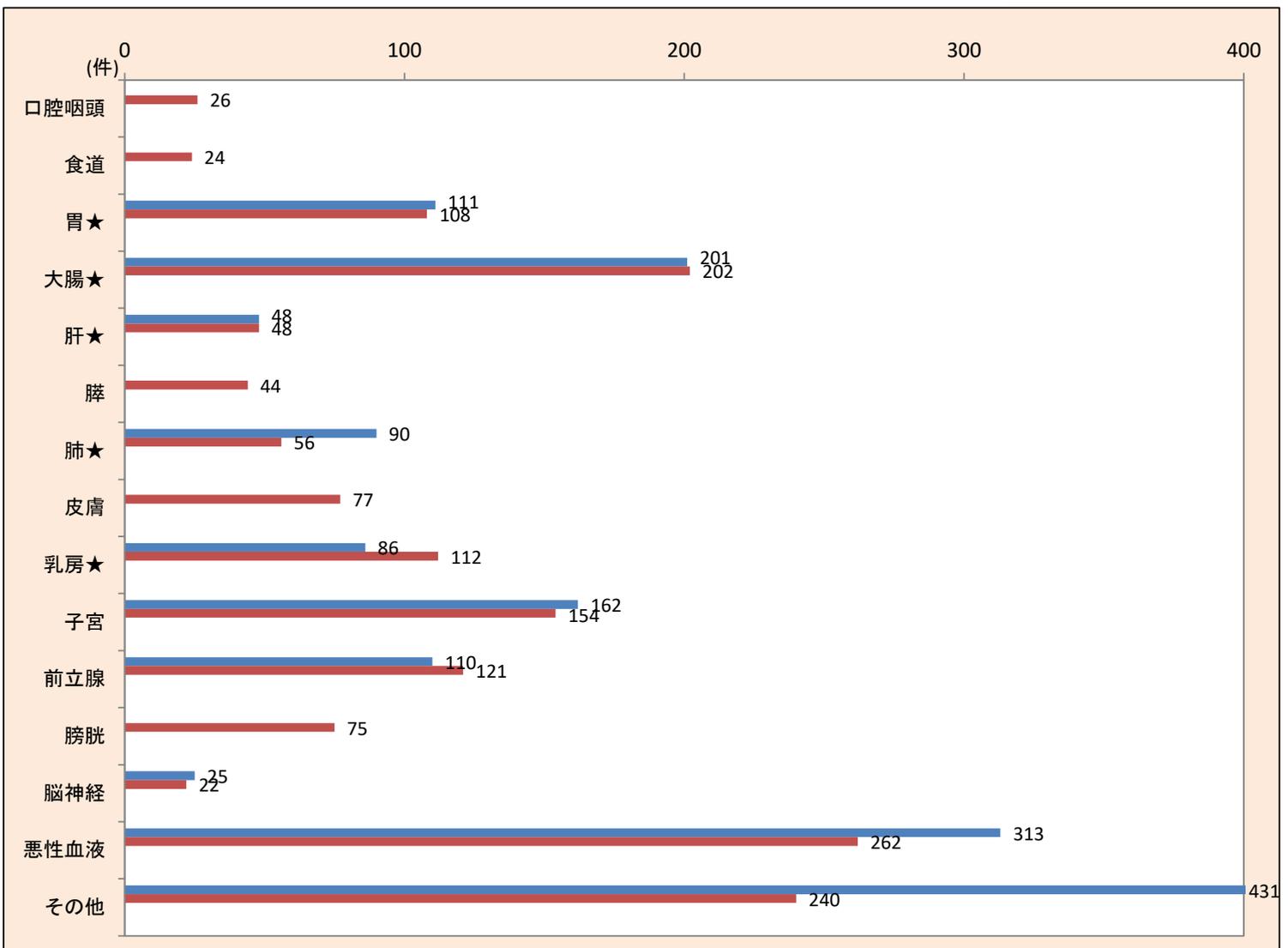
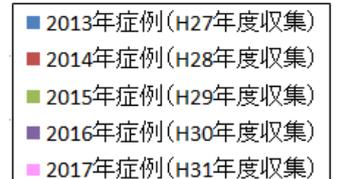
⑤ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H30年度収集)	2017年症例 (H31年度収集)
口腔咽頭		26			
食道		24			
胃★	111	108			
大腸★	201	202			
肝★	48	48			
膵		44			
肺★	90	56			
皮膚		77			
乳房★	86	112			
子宮	162	154			
前立腺	110	121			
膀胱		75			
脳神経	25	22			
悪性血液疾患	313	262			
その他	431	240			
計	1,577	1,571			

2014年診断症例 主要部位別割合



- ・大腸は結腸と直腸
- ・子宮は子宮頸部と体部
- ・悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍



⑥ 主要部位別治療の内訳(2014年診断症例)

- 初発(14部位)
- 初発(その他)
- 症例区分8/治療開始後

総計:1,571件



【赤枠部の治療内容を以下に集計】



- ※ 初回治療として当院で施行された治療のみ集計
- ※ 症例区分8(その他)/診断区分2(治療開始後)は除いて集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と体腔鏡的治療の計

	(外科・体腔鏡) 手術	内視鏡	放射線	化学療法	内分泌療法	計
口腔咽頭	10		*	*		15
食道	*	5	6	9		23
胃★	57	19		37		113
大腸★	146	23	*	73		243
肝★	9			7		16
膵	9		*	19		29
肺★			*	5		7
皮膚	58					58
乳房★	29		7	6	27	69
子宮	98		32	30		160
前立腺	*		22		55	79
膀胱	6	48	8	10		72
脳神経	*		*			*
悪性血液疾患			11	75	4	90
計	429	95	94	273	86	977

